プレス発表資料

令和８年７月１日
秋　　田　　大　　学

風力発電の安全性を高める先進的点検技術の開発に向け
共創研究所を設置

秋田大学（学長：南谷　佳弘）は、秋田県内の風力発電設備の安全性確保および関連産業の振興を目的とし、令和８年７月１日に、下記のとおり共創研究所を設置いたします。

記

共創研究所名　：風力発電スマートメンテナンス・イノベーションセンター
（英名：Wind Power Smart Maintenance Innovation Center － WSMIC）

背　　景　：令和７年５月に秋田市の風力発電所で発生したブレード落下事故を受け、風力発電設備の安全性確保に向けた対応は喫緊の課題となっており、ドローンや AI 画像解析などの非接触点検技術を活用した、より高精度な点検体制の構築が急務となっています。
　こうした背景から、秋田大学・秋田県・NTT 東日本 秋田支店は、先進的点検技術の研究・導入推進に向けた連携協定を令和７年９月５日付で締結しています。本共創研究所は、この連携を起点とし、秋田県の風力発電先進的点検技術研究開発支援補助事業の補助を受け、令和８年７月１日付で設置するものです。

目　　的　：本研究所では、風力発電に係る先進的点検技術の開発・集積を加速させるとともに、以下の取り組みを通じて地域の産業振興に貢献します。

- **先進的点検システムの研究開発**
  AI、ロボティクス、センシング技術を融合し、微細な損傷を自動検出する次世代型の点検技術を開発します。
- **実フィールドでの技術実証と指針の提示**
  実際の風力発電施設等で運用試験を行い、技術検証の実施とともに、特許出願や次世代点検モデルの基準・指針を提示します。
- **高度専門人材の育成と知見の普及**
  技術セミナー、ワークショップ、協議会などを通じて、メンテナンス産業の高度化と人材基盤の強化を図ります。
- **地域連携による社会実装の推進**
  秋田県産業技術センターや県内企業との共同研究・実証体制を構築し、地域一体となって社会実装を推進します。

【問い合わせ先】
秋田大学地方創生・研究推進課　（担当）一関
電話：018-889-3005
Email：mc-tkg@jimu.akita-u.ac.jp